

与那原小学校 第2回 学校運営協議会【議事録】

【与那原小学校CSテーマ】

学校・保護者・地域と連携した子どもの居場所づくり
～ 学校と地域でつくる安心・安全な地域・学校をめざして ～

期 日：令和8年7月21日(火)16:00～

場 所：与那原小学校コミュニティルーム

内 容：地域の防災と課題について、意見交換等

【会順と議事録要約】

1 はじめのあいさつ

校長

2 学校防災と地域防災の連携

各協議委員

① 学校の避難訓練の紹介

○一次避難場所の想定

基本的な一次避難場所として「愛隣園の運動場」、二次避難所として「大見武集落センター」を想定しており、状況によっては観光交流施設への避難も視野に入れている。

○教職員の実践的な訓練

前回の津波注意報で避難を見送った際、教頭からの校内放送、職員による教室の巡回、実際の避難所の視察などを実施でき、職員の訓練になった。

② 学校の避難訓練の課題と検討事項

○地域との情報伝達と連絡網の不在

訓練が中止になった際、誘導に立つ地域の方（区長など）への連絡手段がなく、状況が伝わらないという情報共有の欠如が浮き彫りになった。

○機関ごとの対応の違いによる混乱

注意報発令時など、学校によって対応（外部へ避難するか、教室で垂直避難・待機するか）が分かれたため、役場で混乱が生じていた。

○避難経路の安全性と柔軟な対応

与那門側の古いブロック塀など、通学路・避難経路上の危険箇所が指摘されており、状況に応じて浜田門や幼稚園の庭園を通るなど、柔軟なルート変更の検討が必要。

○避難所のキャパと環境

一次避難所（愛隣園など）に周辺地域からも人が殺到した場合の受け入れ容量の不足や、夏の暑さ・蚊の多さといった季節ごとの環境対策が懸念された。

○交通渋滞と引き渡しオペレーション

災害発生時は周辺道路の深刻な混雑が予想されるため、保護者への確実な引き渡し手順や、地域の実情に合った現実的なオペレーションの構築が必要。

③ 学校防災と地域防災で連携についての決定事項

○連絡手段の統一

避難の中止や予定変更などの緊急連絡は、学校から「CSのLINE連絡網」へ配信し、情報の一元化と迅速な共有を図ることに決定した。

○地域企業との連携・マップ作成

地域企業に協力を依頼し、災害時の「駐車場やトイレの利用可否」「貸出可能期間」を記入・可視化できる防災マップを作成する（一部はCSの名前を入れて展開）。

○次回の協議内容

9月2日に実施するCS会議にて、引き続き地域住民や保護者を交えた「安全な引き渡し方法」について協議を進めることとしました。

3 おわりのあいさつ

PTA会長 小波津